



子どもたちの夢を諦めさせない

町教育委員会が学習支援・学校支援で三者協定を締結

震災によって、学外での学習が困難になった子どもたちの支援や、学校が抱える教育課題の解決に、おのおのが持つ教育支援のノウハウを生かすため、町教育委員会は4月18日、認定NPO法人カタリバ、国立大学法人熊本大学教育学部と「益城町における学習支援・学校支援のための三者協定」を締結しました。

NPOカタリバは、どんな環境に生まれ育っても、子どもたちがつくり出す意欲と創造性を育めるよう、2001年から全国規模で活動を行っており、町では、平成28年5月から学習支援を行っています。

カタリバの今村久美代表理事は、「どうしたら震災のせいで子どもたちの夢が奪われないで済むか。そういう思いで益城町の支援に携わってきました」と活動に込められた思いを話しました。熊本大学の八幡英幸教育学部長は、「地域のニーズに沿いながら、教育委員会やカタリバ、その他の教育団体と連携しながら支援に取り組んでいきたい。教育学部の学生にとっても良い経験の場になると思う」と話し、支援への意気込みを話しました。

協定から2週間後、早速、益城中の体育祭の看板を作成するにあたり、熊本大学教育学部の中学校教員養成課程美術科の学生たちがアドバイスや指導に訪れ、中学生たちと一緒に作業を行いました。



1 協定を締結した八幡教育学部長(左)、酒井博範教育長(中央)、今村代表(右) 2 3 4 5 一生懸命仲良く頑張ります 6 支援に来た熊大生たち



左から西川副会長、稲田理事長兼代表取締役、西村町長

被害状況の把握にドローンを活用

無人航空機(ドローン)を活用した連携協力協定を締結

町は5月8日、熊本県ドローン産業推進協議会(西川尚希副会長)、一般社団法人救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会および株式会社コマンドディー(稲田悠樹理事長兼代表取締役)と「災害時における無人航空機を活用した連携協力に関する協定」を締結しました。

西村町長が、「ドローンで被害状況を把握し、スムーズな初動対応に結び付ける。また、訓練を行い、協力体制をより強固にし、災害に備えたい」と述べました。

Best Smile
今月のベスト笑顔

